



輝く陽光とあふれる湧水群が、発展の原動力

南九州の山河を歩く

5 月の木川橋(めがね橋) (つきのきかわはし)

南からの海流が沿岸を洗い、深い照葉樹の森が広がる南九州。火山大地と豊かな水の恩恵に恵まれ、原始から続けられてきた人々の営みは、千変万化する気候や頻発する災害に対して、幾層にも叡智を蓄積することで、望ましい未来を常に見据え、技術を磨いてきた歴史の歩みである。

美しい意匠のアーチ橋

国道447号に面した出水市役所前から米ノ津川に沿って上流の東へ向かうと、南国バスの「釣橋」バス停の横に鷺築橋さぎやなはし **1** があります。橋長27m、支間27mの鉄筋コンクリートの1連アーチ橋は、昭和2年(1927)の竣工です。架橋当時は大型

車両も通行できましたが、現在は4t以上の車両は通行禁止であり、渡れるのは小型・軽車両、歩行者に限定されています。

建造後96年が経過し、主桁および縦リブはコンクリート保護塗装が施されていますが、巨岩が居並ぶ溪谷に架かる美しいアーチ橋は、幾何学的な欄干の意匠に時の流れが感じられます。

明治時代の煉瓦暗渠

複雑な地形が広がる始良郡湧水町では、南北約14kmに渡って14カ所もの煉瓦暗渠が確認されています。明治42年(1909)に全線開業した旧国鉄鹿児島本線(現:JR九州肥薩線)を建設する際、川や水路をまたぐ場所に煉瓦暗渠が設けられました。同町内を走るJR九州肥薩線は、令和2年(2020)の熊本豪雨で甚大な被害を受けた吉松-八代間の約87kmが、今も不通となったままです。

この区間にも土本遺産に指定された煉瓦暗渠やましたすやかわあんぎよが2カ所あります。山下須屋川暗渠 **2** は延長59.8mであり、沿線の暗渠では、特殊な2連構造の丸池湧水暗渠を除いて最長を誇ります。暗渠内部や上下流部の河床には敷石が施され、上下流部の



1 鷺築橋 (さぎやなはし)



2 山下須屋川暗渠 (やましたすやかわあんぎよ)



3 瀬久谷川暗渠 (せくとにかわあんぎよ)



4 矢岳第一トンネル (やたけだいいちとんねる)

両岸は緻密な石積み護岸で保護されています。瀬久谷川暗渠^{せくたにかわあんきよ} 3 はアーチ径間が4.58mと、沿線では最大です。上下流差1.92mという河床の勾配に合わせて暗渠を傾斜させた構造は、技術水準の高さの証です。どちらもJR「吉松」駅を過ぎて



6 石氷橋 (いしこおりはし)

北上する山中にあります。樹木や雑草が繁茂して一般道路からは容易には近づけない状況です。

かつてのトロッコ軌道

JR九州吉都線^{きつと}の「京町温泉」駅前から熊本県境付近の矢岳方面へ北上すると、山間を縫って進む鉄路が眼前に迫ります。これは人吉方面に向かうJR九州肥薩線^{ひさつせん}であり、矢岳第一トンネル^{やたけだいいち} 4 は沿線で最長の鉄道トンネルです。明治時代に掘削されたトンネルは、急峻な勾配と激しい湧水に悩まされた難工事でしたが、昼夜兼行の突貫工事で何とか開業に間に合わせたと伝えられています。このトンネルから矢岳第二トンネルまでの列車からの景色は、日本三大車窓のひとつに数えられ、韓国岳やえびの高原を見晴らす絶景が楽しめます。この土木遺産も急傾斜の登りに阻まれ、簡単には到達できません。

JR吉都線「えびの」駅北側の国道221号を東の小林方向へ向かい、ENEOSのガソリンスタンドから県道404号に左折、道路脇の「めがね橋」の看板で右に折れて農道を走ると、月の木川橋(めがね橋) 5 が現れます。脇に立つ説明板に

「この橋は川内川最上流の大平官行から吉都線の「飯野」駅までの約30kmのトロッコ軌道の一部として、熊本営林署により木材搬出用に造られたものである」と記されています。「大平」は地名の「おでら」で、「官行」は林野庁が管理した山林という意味です。

堂々とした雄姿を見せる石造3連アーチ橋は橋長58.2m、中央のアーチ高は半径15.2m、竣工は昭和3年(1928)です。軌道は昭和37年(1962)に廃止され、自動車が通るようになりましたが、現在は車両通行が禁止され、通行できるのは歩行者だけです。

渓谷に架かる天空の橋

国道221号をさらに東へ進むと、宮崎交通の「石氷」バス停の先に石氷橋 6 があります。明治25年(1892)に架けられた木造橋でしたが、戦時中の昭和18年(1943)に橋長25m、幅員3.9mという現在の2連石造アーチ橋に架け替えられたものです。石氷川の水面に映る影が眼鏡に似ていることから、別名めがね橋とも呼ばれています。

JR吉都線「小林」駅前から国道265号



7 橋満橋 (はしみつはし)

を北上し、東方中学校入口の交差点を左折し、三之宮峡の奥に向かい、浜ノ瀬川の切り立った渓谷へ下ると、天空に架かる橋満橋 7 が望めます。昭和18年(1943)の竣工であり、当時は物資不足の戦時中だったため、鉄筋の代わりに竹筋が使われ、石材で補強したという、大変に珍しい1連アーチ橋です。

この地域では国道268号沿い、旬の野菜や草花の苗、畜産加工品などが充実した道の駅「えびの」があります。

土木遺産 in 九州のホームページアドレス
<http://dobokuisan.qscpua2.com/>



宮崎県・えびの市、小林市
鹿児島県・出水市、姶良郡

